

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年5月7日
【会社名】	オイシックス・ラ・大地株式会社
【英訳名】	Oisix ra daichi Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 高島 宏平
【本店の所在の場所】	東京都品川区大崎一丁目11番2号
【電話番号】	03-6867-1149（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部本部長 山中 初
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎一丁目11番2号
【電話番号】	03-6867-1149（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部本部長 山中 初
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【提出理由】

当社は、2019年4月25日の当社取締役会において、当社による子会社取得を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 : Three Limes, Inc (通称: Purple Carrot)
 本店の所在地 : 176 Federal Street, 5th Floor Boston, MA 02110
 代表者の氏名 : Andy Levitt
 資本金の額 : 10,472千米ドル (2018年12月31日現在)
 純資産の額 : 5,197千米ドル (2018年12月31日現在)
 総資産の額 : 3,225千米ドル (2018年12月31日現在)
 事業の内容 : ミールキットの宅配サービス

(2) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、EBITDA及び純利益

決算期	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期
売上高	8,648	28,621	40,317
EBITDA	3,367	3,797	3,062
当期純利益	3,731	4,867	4,424

() 営業利益及び経常利益につきましては、会計基準が異なり算出していないため記載しておりません。

(3) 取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 : 記載すべき関係はありません。
 人的関係 : 記載すべき関係はありません。
 取引関係 : 記載すべき関係はありません。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

近年のEC業界においては、スマートフォンの一層の普及やSNS等を活用した販売経路の多様化が進む中で、市場における価格・サービス競争は激しさを増しており、配送員等の人手不足を背景とした物流コストの上昇や、大手流通における食品宅配サービス事業への参入など、取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。また、一方では、人材の多様化が進んだ結果、時短ニーズがより顕在化しており、手間をかけずに手作りの食事を楽しめるミールキットの需要が著しく拡大しています。世界のミールキット市場は、2025年までには90億ドル近くに達すると予測されており、日本においても同様の市場成長が続くと考えられています。

このような環境の中、当社は会員制食品宅配事業において約30年の歴史を持つ、らでいっしゅぼーや株式会社を2018年2月に子会社化、両社のシナジーを最大限に発揮するため、同年10月には合併による経営統合を行い、国内の食品EC市場において、既存サービスである「Oisix」及び「大地を守る会」に「らでいっしゅぼーや」を加えた3ブランドの独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。その結果、2019年3月期の業績予想は、売上高640億円、営業利益22億円と、前期の売上高400億円、営業利益9億円から大幅な成長を見込んでおります。

Purple Carrot社は、2014年に創業以来、ビーガン食のミールキットビジネスを展開しており、アメリカ本土48州を対象に毎週ミールキットをお届けし、お客さまに健康的な食生活を提供しております。

そのような状況の中、当社は2018年の後半から、両社の事業拡大を見据えた取り組みについて、Purple Carrot社と協議を重ねてまいりました。食を通じてお客さまに美味しさと健康的な食卓を提供し、それ自体が社会の持続可能性につながるという両社の経営理念には共通点が多く、また、ビジネスモデルも非常に近いことからシナジーを生みやすいという結論に至り、Purple Carrot社の株式取得を通じたアメリカへの事業展開を決定いたしました。

これにより、当社における海外事業は、Oisixブランドで事業モデル作りを進めてきたアジアに加え、Purple Carrot社によるアメリカでの事業展開が加わることとなりました。このような、ビーガン食と日本食というヘルスコンシャスフードのアジアとアメリカを股にかけたグローバル展開は、世界初の取り組みとなります。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

21百万米ドル

なお、取得価額にはアーンアウト対価分(17百万米ドル)を含めております。

以上